

◇ロボカップジャパンで
5連覇

半（10分）から相手に
得点を与えない一方的な
試合運びで、後半の約3

5月4日から3日間、

分を残して10点を上げ

東京都町田市の玉川学園

コールド勝ちした。

キャンパスで開かれた

サッカーヒューマノイ

「ロボカップ ジャパン

ドリーグ KidSize は、身

オープン2013東京」

長30×60^{センチ}の「自分

で、本学の CIT Brains

で考えて動く”自律型2

がサッカーヒューマノイ

足歩行ロボット3台同士

ドリーグの KidSize で5

で競技を行う。昨年まで

連覇を達成。決勝では1

は青と黄に色分けされて

0対0のコールド勝ちで

いた双方のゴールの色を

圧倒的な強さを見せつけ

同じにするなど、今年は

た。同チームは6月24

より難易度が高まる中で

日からオランダで開かれ

熱戦が繰り広げられた。

る世界大会に挑む。

CIT Grains が今回投

CIT Brains の今年の

入した KidSize ロボット

KidSize の対戦相手は、

は新型の「Accelite」4

いわき明星大学の「いわ

台に加え、昨年の大会で

き☆めいせい」と金沢工

活躍した「Dynamo」3台

業大学夢考房の SITiK。

の計7台。相手ゴールの

総当たりの予選1回戦、

色を見分けなくても、し

準決勝と勝ち進み、迎え

っかりとその方向に向か

た SITiK との決勝戦。前

って転ばずに歩き続ける

「能力」が勝敗を決めた。また、CIT Brainsは身長の90〜120センチのTeenSizeにも「Xega」は「宿敵のドイツチーム」のリーダー、伊藤裕介君「Xega2」の2台を出場させたが、他に出場チームがなかったため、2台でサッカーをするデモンストレーションで観客を湧かせた。

■CIT Brainsの構成

CIT Brainsは6月24日から7月1日までオランダのインドフォーレンで開催される「2013世界大会」でも、この2競技に挑む。Kidでは過去2回、決勝で敗れている米国の大学チーム、

【Kidチーム】前川大輝▽大峽達己▽月岡成志▽益子泰一郎▽小俣飛鳥（以上3年）▽宮地真史（4年）▽福田大輝（修士1年）▽入江清（fuRo 1年）▽林原靖男（教授）

Teenでは宿敵のドイツチームが立ちはだかる。Kidチームのリーダー、前川大輝君は「相手は企業をバックにもつ大チームだが、今年は何としても勝つ。その思いがチー

【Teenチーム】伊藤裕介▽秋山尚賢▽泉航平▽大谷亮介▽鈴木康史▽山野陽平（以上3年）▽南方英明（准教授）

※学生はすべて未来ロボティクス学科・専攻